

ケニア総選挙における緊急事態発生に備えた「安全のしおり」 (8月17日改訂)

選挙日程

・8/9投票 8/15結果発表

今後の予定 (見込み)

・8/23までに不服申し立て

・9/6までに最高裁判所判決

緊急連絡先

在ケニア日本国大使館



住所：Mara Road, Upper Hill,
Nairobi, Kenya

電話：+254-(0)20-2898000
(24時間対応)

当館緊急情報配信用ツイッター
<https://twitter.com/JapanEmbKEEMR>

★★ 平時に準備しておくこと (参考) ★★

● 旅券・在留届

☐ 旅券：6ヶ月以上の残存有効期間があるか確認 (6ヶ月以下の方は、当館にて、旅券切替発給を申請して下さい)

☐ 旅券最終項の「所持人記入欄」は漏れなく記載 (空欄に血液型も記入)

☐ 在留届・外務省「たびレジ」登録
安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます

● 現金・クレジットカード

☐ 現金、クレジットカード、ワクチン接種証明書、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管

● 携帯電話

☐ 平素から携帯電話を充電しておく
☐ 十分なクレジットを確保
☐ 肌身離さず携帯

● 医療・衛生品

☐ 必要な医薬品や生理用品
☐ 乳児関連物資 (ミルク、オムツ等)
☐ 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレトペーパー

● 備蓄

☐ 水・食料 (冷蔵庫で保存を要しない食料) の備蓄 (家族の人数×10日分程度)
※ 治安悪化により、ウーバー等の配達人が勤務できない可能性もあり得ます。

★備蓄品例

- ・飲料水：1人当たり1日3ℓ
- ・主食：米、パスタ、麺類等
- ・ヌードル等インスタント食品
- ・缶詰等

☐ トイレ、洗い物用としての水を確保
風呂やポリ容器等に水を保管

● 自動車

☐ 緊急時に備え、十分なガソリンを入れておく
☐ 平素から、点検・整備を心掛ける

● 生活用品

☐ ライター、マッチ、懐中電灯
☐ ラジオ、予備電池
☐ 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスのボンベ

● 緊急事態の持出携行品

☐ 旅券、その他身分証明書、ワクチン接種証明書等
☐ 現金 ※ケニアシリングと米ドル
☐ クレジットカード・キャッシュカード

基本姿勢

- ☐ 暴動が発生したら、自宅待機が基本
- ☐ 最新の情報を入手（新聞、スマホ、TV、ラジオ）
- ☐ 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時確認（以上の手段が途切れた場合ナイロビ市内についてはFMラジオ88.8Hzで大使館より情報を送信します。）
- ☐ 有事に備えて、平時のうちから備蓄品等を準備
- ☐ 集会やデモ開催場所、投票所、政党本部、支部、裁判所、スラム付近には近づかない
- ☐ 選挙対策により警察力が手薄になるので、犯罪の増加に警戒（マタツやボダボダを利用しない）
- ☐ 徒歩での外出を極力避ける
- ☐ 選挙の混乱等に乗じたテロの発生に十分注意（買い物は混み合う時間帯を避ける）
- ☐ 大使館からの安否確認に速やかに回答

暴動に巻き込まれたら

- ☐ 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない
- ☐ 速やかに現場から離れる、安全な建物内に逃げる
- ☐ 犯罪被害やデモに巻き込まれた場合は、速やかに大使館に連絡
- ☐ 警察の指示があれば、それに従う

行動基準

在ケニア日本国大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

○（情勢）平和的なデモ・集会

（対応）各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

○（情勢）デモ・集会等での暴力衝突が増加

（対応）情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

○（情勢）暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生

（対応）自主的な出国かケニア国内の安全な地域への移動を検討。残留者は、自宅待機を行う。いつでも出国できるよう準備を進める。

○（情勢）市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。騒乱・内乱・クーデター等が発生

（対応）外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避。大使館との連絡を保持する。

★情勢が著しく悪化した場合や、外出禁止令、戒厳令等が発出された際には、スポット情報を発出して注意喚起を行う可能性があります。（※スポット情報とは、特定の国や地域において、日本人の安全に関わる重要な事案が生じた際、あるいは生じる可能性がある場合に速報的に出される情報です。）